

神奈川県駅付近で、リニア車両走行時に地上でどのくらいの振動があるのか教えて下さい。

- 神奈川県駅付近では東橋本の地点において列車の走行に係る振動について予測評価を行っています。その予測値は基準値を大きく下回り、48dB未満です。
- また、着地時における振動についても山梨リニア実験線で測定を行っており、車輪走行時の値(実測値で46dB)よりもさらに1dB程度小さいことを確認しています。一気に着地するのではなく、徐々に着地するため、車輪走行時よりも振動は小さくなります。
- あらましに記載している振動のめやすでは「人体に感じない程度」であり、影響は小さいものと考えています。

準備書に対する知事や市長の意見を受けて、評価書ではどのような点を改善したのですか。

神奈川県環境影響評価書作成の主なポイントは次のとおりです。

- 事業開始後に実施する「事後調査」・「モニタリング」について具体的に記載
- 発生土の活用の基本的な進め方と新たに発生土置き場等を設置する場合の環境保全方法を具体的に記載
- 関東車両基地周辺に設置するビオトープ等の計画について具体的に記載
- 東百合丘付近の地域交通への配慮として、大型車両進入口の設置について記載
- 相模原市山間部の狭隘な道路における様々な取り組み(工事用車両の運行ダイヤの作成、仮設信号機の設置など)による環境影響の低減について記載
- 地域の祭祀について地元の意向を踏まえて計画することを記載

区分地上権を設定する用地の幅は測量が終わらないとわからないのですか。

- 中央新幹線のルートについては図面でお示しておりますが、図面には一定の誤差が含まれるため、当事業に必要な用地につきましては、今後、用地に係る測量等を行って、路線の中心線を現地で確定し、用地幅を明らかにするための杭の建植等を行います。
- 権利設定する範囲を確定した後、土地・建物の所有者様をはじめ関係する権利者の方に用地補償の説明をまいります。